

第 19 回日本小児医学教育研究会開催にあたって

第 19 回日本小児医学教育研究会を担当させていただくことになりましたことを光栄に存じます。

本研究会は小児科の医学教育を統合的に議論する唯一の研究会です。医学教育の国際認証が全国の医学部で進んでいます。その中で、我が国の医学教育は国際標準の考えから、見直しを迫られています。小児科は国際認証において、重要な診療科の 1 つとして位置づけられており、卒前・卒後教育における小児科教育のあり方は重要な課題です。これらの課題に答えを出すことができるのは、小児科を担う私たち小児科医しかありません。特に、卒前教育を担う医学部の教員の役割は大きいと考えられます。

このような課題に立ち向かうために、第 19 回日本小児医学教育研究会のテーマは「小児医学教育のあり方を原点から考える」といたしました。今回は卒前教育に焦点を当てて、モデルコアカリキュラム、OSCE/CBT、臨床実習における小児科のあり方を原点から考えたいと思います。基調講演としては日本医学教育学会理事長である鈴木康之先生をお迎えして、「国際的な視点から見た卒前教育における小児科教育」についてご講演いただきます。皆様と一緒に小児科の教育について議論することができればと願っています。

2019 年 8 月 吉日

第 19 回日本小児医学教育研究会

会長・齋藤伸治

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野・教授